



感謝の気持ちをつないで

新型コロナウイルスの拡大になかなか出口が見えず、緊急事態宣言も延長されたなか、本校では、まず何よりも子どもたちの命と健康を守ることに全教職員が力を注いでいます。

保護者の皆様や地域社会の皆様と直接お目にかかることができず残念ですが、子どもたちは、自分たちで意識して感染症対策もしながら、そして今できる活動のなかで、自分らしく成長をしてくれています。御安心ください。

日々の報道に触れていると気持ちが暗くなることも多いのですが、子どもたちの姿を見ていると、このよりの未来を守らなくてはと、強く思います。

さて、そのような社会情勢のなか、本校にとって、とてもとても嬉しいことがありました。

高等部保護者の岩木様が、「本校の寄宿舎で使ってください」と空気洗浄機8台を寄贈してくださったのです。お子さんに、「自立に向けた力を育てていただいていることへの感謝を込めて」ということを仰っていただき、学校としては大変に嬉しかったのですが、実は、岩木様は飲食店を営んでおられます。この感染拡大状況のなかで経営の苦しさも伝えられる飲食店ですが、岩木様のお店は、パンの店頭販売などの様々な工夫をしながら営業を続けておられるそうです。

そして、「地域のたくさんの方が『頑張ってや』と声をかけてくださったり、パンを買ってくださったりして本当に支えてもらったのです。だから、この地域からもらった感謝の気持ちを今度は自分が伝えたかったのです。」とお話されました。

昨今は、様々な制限もあり、人の気持ちも内にこもりがちになり、孤独を感じることもあります。でも、このお話を聞いて、人間の本来もっている人としての素晴らしさ、人と人のつながりの嬉しさを強く感じました。そして心の底から元気がわき出てくるような、大きな励ましをいただいた気持ちになりました。

岩木様からは、「向日が丘では、本当にいろいろな子どもが勉強しているけれど、それぞれがいろいろな可能性があつていいですね。自立して生きていける力をこれからもつけてください。」とのお話もいただきました。御礼に感謝状と高等部生徒作のガーデンピック「どんぐりん」をお渡ししましたが、「どんぐりん」はお店で使っていただけるそうです。



さて、「地域から受け取った感謝の気持ち」を形にして届けてくださった岩木様への感謝の気持ちを、私たち向日が丘支援学校はどんな形にしてつないでいけばいいのか、教職員みんなで考えたいと思います。

京都府立向日が丘支援学校 校長 平岡 克也

例年なら各学部で「新入生歓迎会」が行われている時期ですが、感染症対策のため各学部とも、工夫して新入生を歓迎しています。小学部では、新入生の写真をお花の枠に入れ、虹で飾った掲示物を中央廊下に掲示しています。中学部、高等部もリモートを利用するなどして密にならないようにしながら歓迎会を行う予定です。



学校の様子を動画配信

YouTube

「むこうが丘チャンネル」
(むこちゃん)

NEW



本校公式HPも、御覧ください。

http://www.kyoto-be.ne.jp/mukougaoka-s/cms/?page_id=25